

# 平成29年度 第3回 学校協議会 記録

○日時 平成30年2月14日（金）午後15時29分～17時00分

○場所 本校 高等部棟2階 図書室

○参加者 学校協議会委員 守口市教育センター センター長 吉川 弘美 様  
立命館大学 産業社会学科 教授 青山 芳文 様  
社会福祉法人 一粒のからし種 グレース工房  
理事長 福田 章男 様  
守口支援学校 学校医 森口 久子 様  
PTA会長 中重 早苗 様

学校協議会事務局 郡司校長 與賀田事務長 佐野教頭 紙野教頭

室田小学部主事 山本中学部主事 石田高等部主事 各分掌部長 医療的ケア安全委員長  
木戸養護教諭

○内容

## 1 学校長挨拶

H30年度 小学部+6名、中学部+2名、高等部 現状 計3～5名増の175名～178名で、今年度と大きく児童・生徒数は変わりません、本日もご忌憚のないご意見をお願いします。

## 2 学校協議会会長挨拶

守口の小・中学校ではインフルエンザAB型が同じ学校で広がっています。あるクラスはA型で学級閉鎖、学年閉鎖のところもあります。第3回と最後の学校協議会ですので、今年度の成果をまとめるうえでも協議委員のみなさま、いろいろなご意見をください。よろしくお願いします。

## 3 今年度の学校経営計画の総括と今後の課題について

校長)平成29年度の学校経営計画の評価をお伝えします。

自己評価のところで、予定とおりに進んだものは○、予想を下回ったものは△、予想以上を上回ったものを◎で示している。学校経営計画は教育長のHPに載ります。

(1) ①は資料のとおり

②ICTの活用についてH28と同じポイント、H27は上回らなかったもので、来年度は頑張りたい。

(2) イ②PTAの協力で防災備蓄用飲料水を購入。

ウ①人権に関する研修では、1学期；事例検討や、2学期；指導主事を講師として招き「子どもの貧困について」研修、3学期；虐待についての研修を実施。

②他校はいろいろな事案、本校では現在起こっていない。引続きすすめていきたい。

- 4 平成29年度学校教育自己診断について (教頭)
- 5 自己肯定感PT取り組みと成果についての報告 (教頭)
- ・全体研修会と研究授業 来年度に向けて「わかってうごける授業づくり」から「～ができる、うまくなる、そして、自己肯定感が高まる」ことの実現に向けて、検討していきたい。
  - ・カリキュラムマネジメント…シラバスの検討、キャリア教育プログラムの検討
- 6 本校校則について・学校運営協議会について (校長)
- 府立の高校の頭髪指導、問題があった。過去の規則、乖離しているものがないか、学校協議会でも見ていただいて、点検したい。
- 平成30年度より、学校協議会は学校運営協議会になる。

### 《質疑・協議等》

- 協議員 保護者の感じたこと、「初任者研修の充実。ポイントがあがったことがすばらしい。生かしてほしい。今後、先生全体のレベル up、子どもたちの様子をわかってあげられる先生になってほしい。これからも続けてほしい。学部を超えての研修、交流をこれからも続けてほしい。ひいては子どもたちのためになるので。
- 協議員 守口市基幹相談支援センターについて教えてほしい。相談先として繋いでもよいか。
- 協議員 食物アレルギーについて説明してほしい。
- 事務局 アレルギー対応の児童生徒は4名。一人ひとりのプランを立て、給食の進め方を検討。児童生徒がより安全に学校生活を送れるように、本校に合わせたマニュアルの作成など行っていく予定。食物アレルギー対応委員会は来年度、医療的ケア安全委員会と同じように位置づけ、コンスタントに行っていきたい。
- 協議員 障害者基礎年金についての講演、過去に手続きの仕方がわからない方がおられた。重要なことなので説明等の機会を充実していただきたい。
- 協議員 先生方の働き方について、ストレスチェック、長時間労働の面談、産業医として学校の問題点は把握しているところ。就業時間内にどれだけ仕事がきているのかの視点を入れて欲しい。
- 協議員 入り口として、わかってうごける授業づくりがある。
1. 子どもが自分で考えて動ける学習環境を整える。
  2. 子どもの状態に合わせた支援手段。
  3. 「なぜ」「なんのために」そうするのか考える機会を設ける必要がある。
- 事務局 自己肯定感は大切なものと考えている。
- 自分の得意なことがわかっていると、難しい場面も乗り越えていけるのではないかと。「きみたちはすごい、素敵な人だよ」と伝えていきたい。